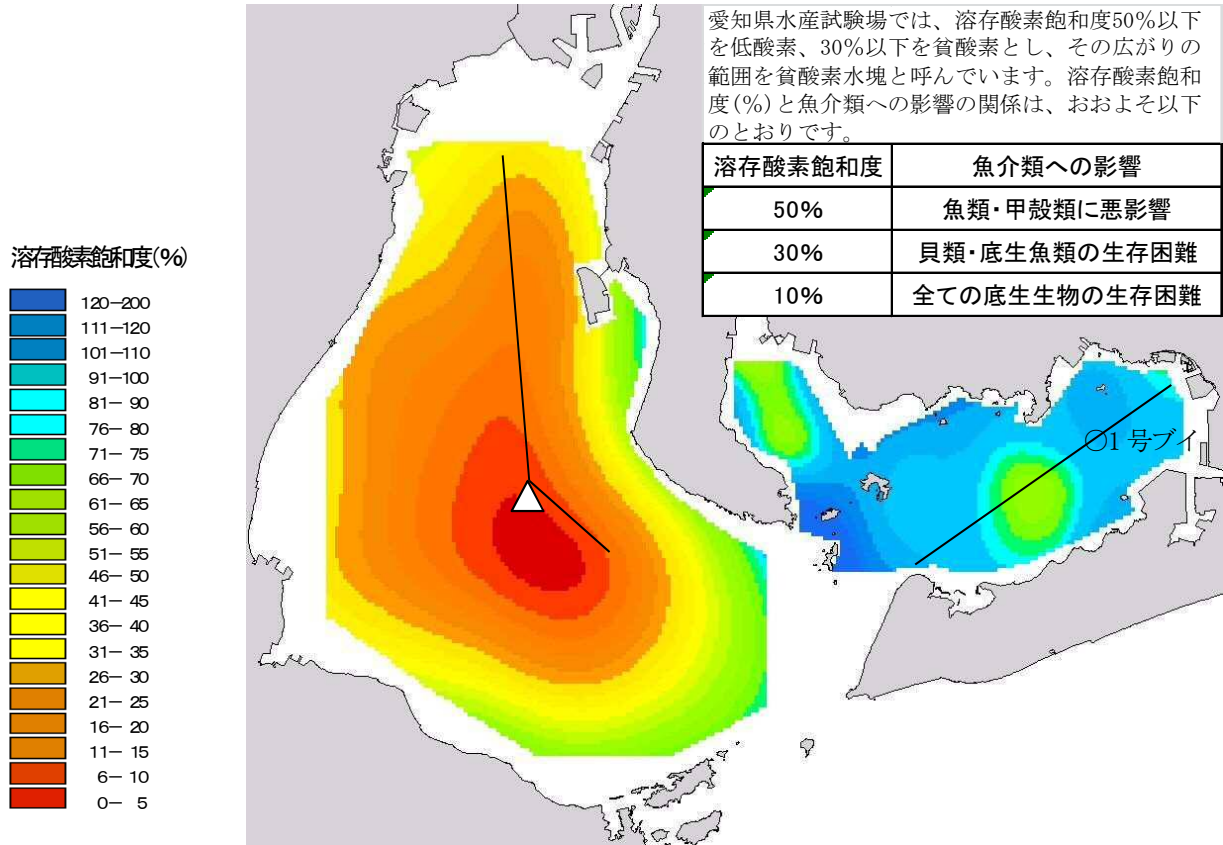


# 伊勢・三河湾貧酸素情報(H29-14号)

平成29年10月6日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成29年10月3日に伊勢湾、10月3、4日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。



伊勢湾奥

湾口

三河湾奥

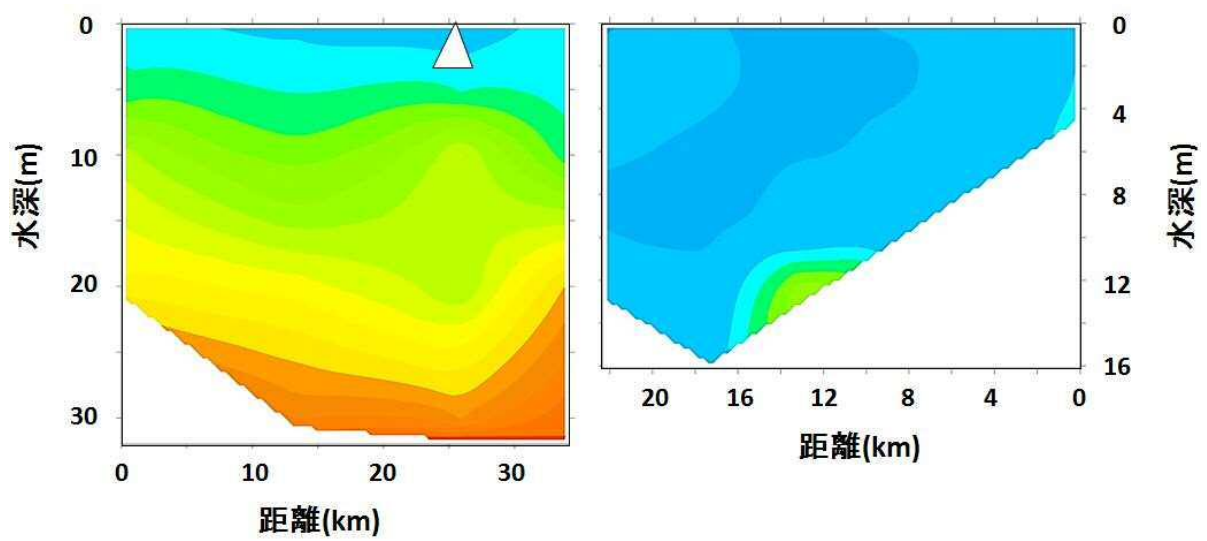


図1 伊勢湾(10月3日)・三河湾(10月3、4日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(三重県「あさま」、愛知県「ちた」調査)

### 伊勢湾

10月3日の調査結果を図1及び表1に示しました。湾奥部から湾中央部にかけて貧酸素水塊が広く形成されていました(図1)。

今後は表層水温が下降するため、海水の上下混合が起りやすくなることから、貧酸素水塊は徐々に解消に向かうものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.3~23.5	22.1~31.3
底層	21.1~24.0	31.8~33.7

### 三河湾

10月3、4日の調査結果を図1及び表2に示しました。前回調査(9月21、25日)と同様に、三河湾全体で貧酸素水塊は発生していませんでした(図1)。

自動観測1号ブイ(蒲郡沖)のデータを見ると、9月27日から28日にかけて貧酸素層が一時的に形成されました(図2)。しかし、低気圧の通過に伴い9月28日の午前9時から午後11時にかけて風速3.9~9.3m/sの北から北西の風が吹いた影響により、9月29日以降は溶存酸素飽和度が高い状態で推移しています。

今後は表層水温が下降するため、海水の上下混合が起りやすくなることから、貧酸素水塊の著しい発達はみられないものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.0~25.1	23.8~31.9
底層	22.0~23.7	31.0~33.1

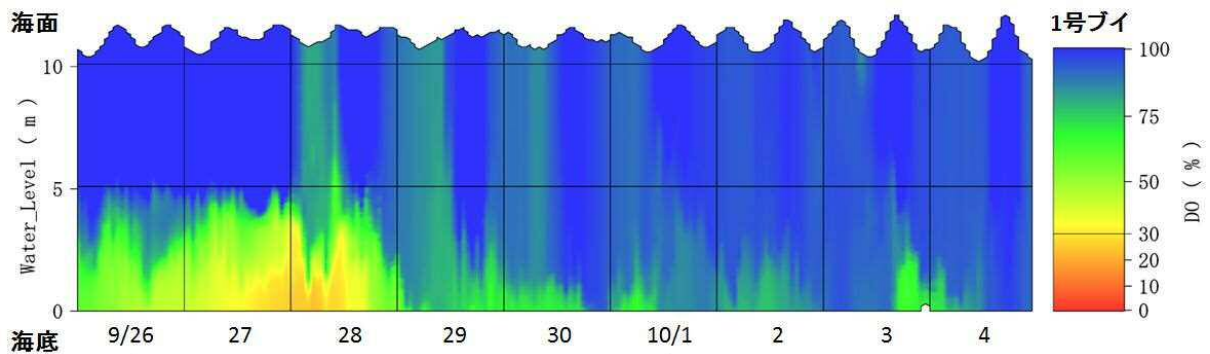


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測1号ブイ)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

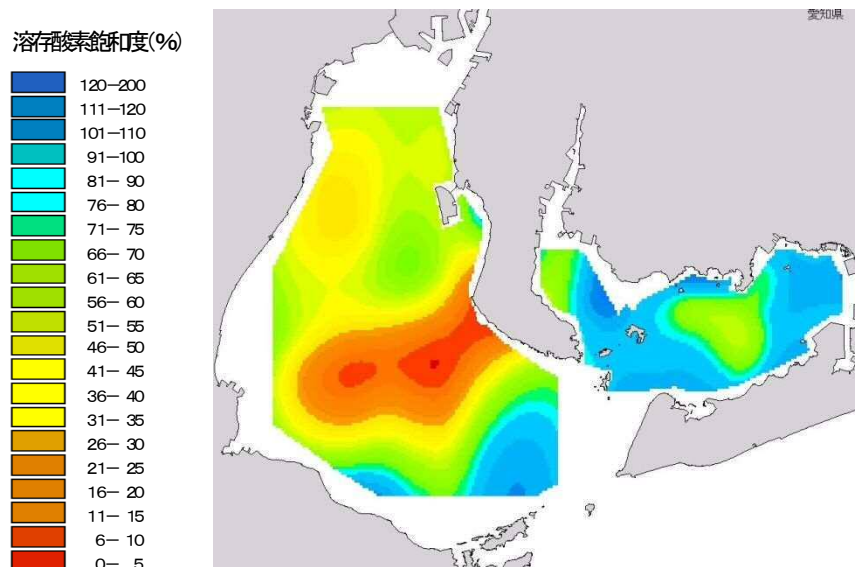


図3 平成29年9月27、28日(伊勢湾)、9月21、25日(三河湾)